

久米 雅 (くめ まさし : KUME Masashi)

食物栄養学科

【職 名】 准教授

【最終学歴】 日本体育大学大学院体育科学研究科博士後期課程修了

【学 位】 博士(体育科学)

【専門分野】 運動生理学、温熱生理学

【担当科目】 健康管理論、健康スポーツ、健康科学、運動生理学、生涯スポーツ

【所属学会】 日本体力医学会、日本生気象学会、日本体育学会

【研究課題】・ヒトを対象とした暑熱および寒冷環境下における運動パフォーマンスについて

【主な教育研究及び社会的活動】

(1)論文:

- ・水循環スーツを着用した運動時の体温調節反応と冷却面積,冷却容量との関係、筆頭著者、体力科学、58、pp.109-121 (2009.2)
- ・水循環スーツ着用時の熱抽出量,皮膚温,皮膚血流と運動時の深部温変動との関係、筆頭著者、日本生気象学会誌、46、pp.159-168 (2009.12)
- ・女子大学生における体力の短期的推移、筆頭著者、京都文教短期大学研究紀要、第 52 集、pp.115-122 (2014.3)
- ・Differences in the heat stress associated with white sportswear and being semi-nude in exercising humans under conditions of radiant heat and wind at a wet bulb globe temperature of greater than 28°C、共著、International Journal of Biometeorology、58、DOI 10.1007/s00484-013-0733-0 (2014.7)
- ・WBGT 28°C以上の輻射環境下における四肢部露出の有無が運動時の温熱ストレスに与える影響、共著、日本生気象学会雑誌、51(4)、pp.127-139 (2015.1)
- ・フリップジャンプの回転数が膝関節と股関節の角度変位に与える影響、共著、京都文教短期大学研究紀要、第 53 集、pp.91-96 (2015.3)
- ・Lower limb muscle activation patterns and physiological responses obtained using binding pedals during bicycle exercise: The differences of the subjects.、共著、Advances in exercise and sports physiology、21(1)、pp.7-15 (2015.4)
- ・ラグビータックルのバイオメカニクス、筆頭著者、日本バイオメカニクス学会機関誌、ラグビーの科学、21(1)、pp.9-18 (2017.6)
- ・Changes in the physiological strain and graded exercise performance due to warming or cooling of the lower body in a temperate environment、共著、The Journal of Sports Medicine and Physical Fitness 2021 January;61(1):18-26 (2021, 1)

(2)学会発表:女子大学生アスリートの熱疲労発生と夏季の栄養摂取習慣に関する横断的研究,山下直之,久米雅,吉居尚美,小久保友貴,鈴川一宏,木村直人,芳田哲也,第76回日本体力医学会大会(2021, 9)

(3)学内活動:ともいき研究発表 自発的運動習慣を促す環境づくりに関する研究~若者の運動トリガーを探る~,岡本浄実,久米雅,山下篤央,田中真紀,森井秀樹,2022年,3月

(4)社会的活動:体育の授業や部活動における熱中症予防対策,教員免許状更新講習,講師,近江八幡商工会議所(2021, 8)